
Memory Friend

昧

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

Memory Friend

【Nコード】

N6900C

【作者名】

昧

【あらすじ】

ふと思い返す少女の幼い記憶たどるお話夢から醒めたとき迎える結末は悲しきものじゃないと信じていたい小さなストーリー

プロローグ

大切なのは分かっていた

少女は今日も窓枠外の風の強い晴ればれとした青空を見てその白い手を伸ばす

- -

「雨」は嫌い

でもこんなに綺麗な青空を見ると自分が透明になって一緒に溶けてしまいたい

「恋」なんて経験したことがないから

私には

「友達」がいてくれればそれでいい…そう思っていた

もし流れ星みつけて願い3回唱えたら奪われたその大切な

「友達」返してくれますか？

「今日も…思い出しちゃった……」

溜め息交じりにそう言って空から視線外した

期待なんてしない

唯いまの現実味を受け入れるだけ

ひゅう、と

風が音たてて部屋の中をカーテンから吹き抜けるその拍子に近くの本棚からちいさなアルバムが落ちた　もうさか昇る

2年前のお話

第1話 進級式

遠のいた思い出

手元の写真眺めて少女は今までの孤独感を体中で感じ取る

2、いやもう3年前になるだろうか

少女は今年中学3年で

「受験」という頭が痛い日々を過ごしていたのだ

こう考えると2、3年前なら小学生の頃まだなんにも悩まずなんにも苦労しなかった頃：ストーリーは少女の小学生の記憶なのだと
ても幼かった自分を懐かしむ、それだけではなかった――

少女は目を伏せて

夕暮れの静まった教室にひとり机に顔をうずめている

カレンダーは4月

これで進級式を行うのも6回目。いい加減緊張することないというならば鞆の中身に忘れ物がないかのほうが心配だ毎年クラス替えがあるのは友達と離れてしまう不安もあるが散々うんざりした人とも離れられる可能性もあって複雑だ

校門の前には丁寧に紙の花が行儀よくはられた看板に大きく

「入学式」なんてかいてあって異様に背のランドセルが巨大に見える新1年生と十分化粧を頑張った母親らしき人と並んで写真撮影が連続だ

はつきり言って通路の邪魔ですよ奥さま、なんてこと思いつながら校庭を横切り生徒玄関へむかった

灰色の靴棚に白い模造紙にクラス全員の名前がびっしり書かれてあった毎年こうだけど見るほうはこんなに大きな紙の名前の中から自分の氏名を探すなんて結構大変じゃないか？

特に遅生まれで出席番号が後ろのほうなんて更に面倒だ

名前のやまの中からやつと自分の名前を探し当てた少女

「沙世」は模造紙の上に

「6・4」と書かれてあったからさっそくクラスへ歩いていくそう
いえばまえ姉が6年のとき小4だった沙世は忘れものを届けに6年
教室まで行つてすごい緊張したなとか思いながらそして今自分が学
年の一番最上級生になるのか、とか思いながら見慣れた校舎の3階
へ続く階段をのぼっていった

桜が花ひらくのは

たしか4月の終わり頃

この日は透き通った青空だった…

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6900c/>

Memory Friend

2011年1月19日02時48分発行